

平成 27 年 3 月 4 日

第 3 回国連防災世界会議パブリック・フォーラムの開催について

国連防災世界会議は、1994 年からほぼ 10 年ごとに開催され、防災・減災の取り組みや世界の防災行動枠組の策定などが話し合われてきました。今年 3 月 14 日～18 日に仙台市で開催される第 3 回会合では、気候変動や持続可能な開発など、世界がこれまで取り組んできた地球規模の課題と連動する形で、今後の新たな国際防災の枠組みが策定されます。同時にこの会議に関連して、世界中の人々が防災・減災について学び合う、パブリック・フォーラムが公式の関連イベントとして開催されます。

福島大学うつくしまふくしま未来支援センターでは、これまで福島大学が取り組んできた震災と原発事故という人類史上初の複合災害からの復興経験と得られた教訓を世界の人々と共有するため、福島市と仙台市で国際シンポジウムを開催します。これら二つのシンポジウムは、国連によりパブリック・フォーラムとして承認されたものです。

【福島シンポジウム】

行事名：複合災害からの復興と災害復興学の確立

日 時：2015 年 3 月 16 日（月）13 時～17 時 30 分

場 所：コラッセふくしま 4 階 多目的ホール

主 催：福島県、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター（FURE）

後 援：U.S.-Japan Research Institute、(独)国際協力機構（JICA）

内 容：これまで支援及び研究活動を行ってきた FURE 科研費基盤 S 研究チームと、海外で原発や避難民について先端的な研究を行っている海外の研究者による報告と討論を通じて、復興に向けた展望を提示します。

【仙台シンポジウム】

行事名：より良い復興に向けて－福島大学の挑戦と貢献－

日 時：2015 年 3 月 18 日（水）9 時 30 分～11 時 45 分

場 所：TKP ガーデンシティ仙台勾当台第 1 ホール（仙台市青葉区国分町 3-6-1）

主 催：福島大学うつくしまふくしま未来支援センター（FURE）

後 援：(独)国際協力機構（JICA）

内 容：国内外で発生する次の災害に生かすため、FURE のこれまでの取り組みと複合災害からの経験・教訓を世界の人々と共有します。

* どちらのシンポジウムにも、日本語－英語の同時通訳が入ります。また、事前の参加申し込みは必要ありません。

（お問い合わせ先）

うつくしまふくしま未来支援センター

特命教授 三村 悟

電話：024-504-2836 E-mail:r649@ipc.fukushima-u.ac.jp

第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム

複合災害からの復興と災害復興学の確立

Building back from Cascading Disasters and Establishment of
academic framework of Disaster Reconstruction

日時：2015年3月16日（月）13時～17時30分

会場：コラッセふくしま 4階多目的ホール

（福島駅西口徒歩3分）

主催：福島県、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター（FURE）

後援：U.S.-Japan Research Institute、(独)国際協力機構（JICA）

プログラム：

開会式辞 中井勝己 福島大学学長
研究概要 山川充夫 研究代表者、福島大学特命教授

セッション1 放射線リスク

Wolfgang Raskob ドイツKarlsruhe Institute of Technology、NERIS
大瀬健嗣 福島大学FURE特任准教授

セッション2 災害と地域復興

Inger Eikermann ノルウェイNorway Radiation Protection Authority、NERIS
吉田樹 福島大学経済経営学類准教授
佐藤彰彦 福島大学FURE特任准教授
Syafuruddin Karimi インドネシアAndalas University

セッション3 パネルディスカッション

パネリスト：山川充夫、鈴木浩（福島大学名誉教授）、Gilles Heard-Dubreuil（フランスMUTADIS、NERIS）、瀬戸真之（福島大学プロジェクト研究員）、荒木田勝（アジア防災センター主任研究員）
ファシリテーター：高木亨（福島大学FURE特任准教授）

（日英同時通訳あり）

Third UN World Conference on Disaster Risk Reduction
Public Forum Side Event

Building back from Cascading Disasters and Establishment of academic framework of Disaster Reconstruction

Organizer: Fukushima Prefecture
Fukushima Future Center for Regional Revitalization, Fukushima University

Under the auspices of: U.S.-Japan Research Institute, Japan International Cooperation Agency

Date: Monday, March 16, 2015

Time: 1:00pm to 5:30pm

Venue: Corasse Fukushima, Fukushima City, Japan

Program:

Opening remarks Prof. Katsumi Nakai, President of Fukushima University

Overview of the research Dr. Mitsuo Yamakawa, Principal Investigator

Session 1 Radiation Risk

Dr. Wolfgang Raskob, NERIS, Karlsruhe Institute of Technology, Germany

Dr. Kenji Ose, Project Associate Professor, FURE

Session 2 Disaster and Regional Revitalization

Dr. Inger Eikermann, NERIS, Norway Radiation Protection Authority, Norway

Dr. Itsuki Yoshida, Associate Professor, Fukushima University

Mr. Akihiko Sato, Project Associate Professor, FURE

Dr. Syafruddin Karimi, Andalas University, Indonesia

Session 3 Panel Discussion

Dr. Mitsuo Yamakawa

Dr. Hiroshi Suzuki, Professor Emeritus, Fukushima University

Dr. Gilles Heard-Dubreuil, NERIS, MUTADIS, France

Dr. Masayuki Seto, Project Researcher

Masaru ARAKIDA, Senior Researcher, Asia Disaster Reduction Center (ADRC)

Facilitator: Dr. Akira Takagi, Project Associate Professor, FURE

*Japanese – English simultaneous interpretation

Contact: r686@ipc.fukushima-u.ac.jp (Fukushima University)





第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム

より良い復興に向けて
—— 福島大学の挑戦と貢献 ——



「うつくしまふくしま未来支援センター」は東日本大震災及び原発事故からの復旧・復興を支援することを目的に2011年4月に設立され、多岐にわたる復興支援活動に包括的に取り組んでいます。福島の実験を世界の大規模災害、複合災害に生かせるよう、センターのこれまでの取り組みと、人類が初めて経験する複合災害からの「学び」を参加者と共有します。

2015年 **3月18日** (水) 9:30~11:45
TKPガーデンシティ仙台勾当台第1ホール
仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル2・3F



【入場無料】

- どなたでも参加できます
- 日英同時通訳があります

開会の辞

中田スウラ 人間発達文化学類教授 (FURE センター長)

こども若者支援部門

「こども・若者支援の現状」

森 知高 人間発達文化学類特任教授、本多 環 FURE 特任教授

地域復興支援部門

「生活環境の再建と創造～産業・街づくりの取り組み」

高木 亨 FURE 特任准教授

「原発避難の実態と復興政策の現実」

佐藤彰彦 FURE 特任准教授

「県民が主役の再生可能エネルギー事業の福島モデルの提唱」

大平佳男 FURE 特任研究員

農・環境復興支援部門

「風評被害払拭に向けた取り組み」

石井秀樹 FURE 特任准教授

「警戒区域における取組み」

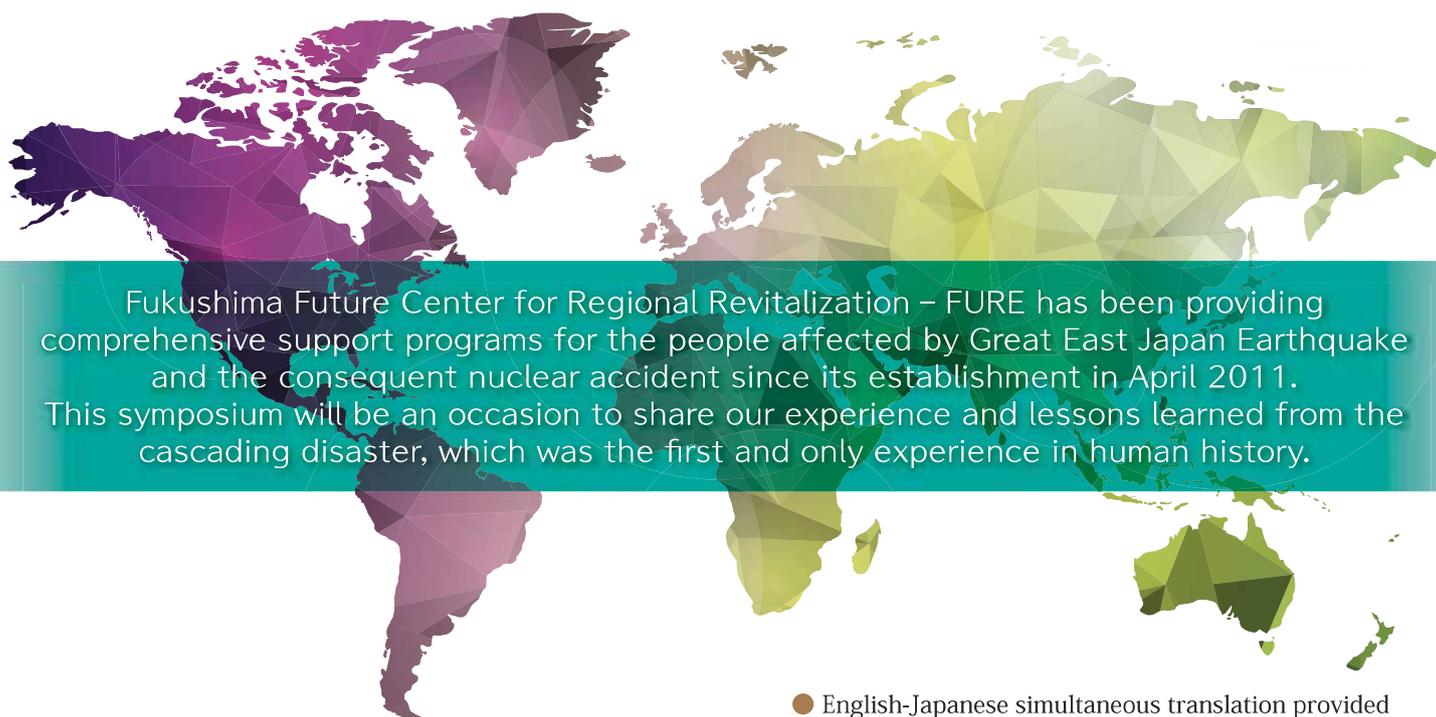
大瀬健嗣 FURE 特任准教授



Public Forum of the Third UN World Conference on Disaster Risk Reduction

For the Building Back Better

Challenge and Contribution by Fukushima University



Fukushima Future Center for Regional Revitalization – FURE has been providing comprehensive support programs for the people affected by Great East Japan Earthquake and the consequent nuclear accident since its establishment in April 2011. This symposium will be an occasion to share our experience and lessons learned from the cascading disaster, which was the first and only experience in human history.

● English-Japanese simultaneous translation provided

Wednesday, **March 18**, 2015 09:30-11:45 am TKP Garden City Sendai Kotodai, Hall 1

Opening Remarks

Prof. Sura Nakata, Director of FURE

Session 1: Child and Youth Support

“The current situation of children and youths in Fukushima and support program for them”

Prof. Tomotaka Mori, Prof Tamaki Honda

Session 2: Regional Reconstruction Support

“Rebuild and create living environment – Livelihood support and community development”

Dr. Akira Takagi

“Current status of displaced people due to the nuclear accident and reality of the restoration policy”

Mr. Akihiko Sato

“Community Led Renewable Energy Program – Proposal of Fukushima Model”

Mr. Yoshio Ohira

Session 3: Agriculture and Environment Reconstruction Support

“Shaking off the negative image and harmful rumors”

Dr. Hideki Ishii

“Activities and approach in restricted area”

Dr. Kenji Ohse



UN World Conference on
Disaster Risk Reduction
2015 Sendai Japan

第3回国連防災世界会議
パブリック・フォーラム

3月16日(月) 福島
3月18日(水) 仙台

うつくしまふくしま未来支援センター

人類の未来に大きな意味を持つ
「2015年」



国連防災世界会議
(3月14~18日、仙台)
日本国内で開催される最大級の国際会議

持続可能な開発目標 (SDGs)
(9月、ニューヨーク)

**気候変動枠組条約
第21回締約国会議 (COP21)**
(11月、パリ)

**ポスト
2015
開発枠組**

環境や貧困、
人間の安全保障
についての
世界的な
取り組み目標



UN World Conference on
Disaster Risk Reduction
2015 Sendai Japan

1つ目の柱
「政策」

防災に関する世界的な政策枠組の策定

政府中心

アウトプット:
ポスト兵庫行動枠組
(仮)

2つ目の柱
「教訓」

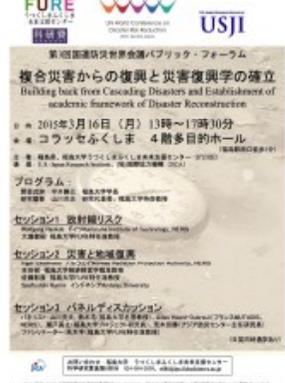
災害と復興に関する世界との学び合い

学術機関・市民組織中心

福島への期待:
複合災害経験の共有

ふたつのシンポジウムを通じて、福島の経験と復興への取り組み、世界が求める教訓を共有する

3月16日(月)
コラッセふくしま



3月18日(水)
仙台

